

地球にやさしい 環境にやさしい リユース食器



を使ってイベントごみを減らそう！

【平成20年度のリユース食器活用例】

1. 第31回多摩区民祭 10月18日(土)

多摩区民祭では、焼きそばやうどんなどを販売する5つの店舗で、市内区民祭では初めてリユース食器を使用し、地域通貨「たま」運営委員会や多摩区役所職員等とリユース食器の活用を呼びかけました。



うどんの入ったリユース食器をもつ来場者

2. たまりバーサイドフェスティバル2008 11月3日(祝・月)

二ヶ領せせらぎ館近くの河川敷で市民の方々が音楽やダンス、ミュージカルを披露する「たまりバーサイドフェスティバル2008」において、リユース食器を使用しました。川崎産の野菜を使った「多摩鍋」に300個のリユース食器を使用し、企画運営に参加した大学生等によるリユース食器の普及広報が行われました。



リユース食器を使った「多摩鍋」の販売風景

3. 2008川崎国際多摩川マラソン 11月16日(日)

2008川崎国際多摩川マラソンでは、等々力陸上競技場内のゴール付近の給水所でリユース食器を使用し、約4,400個の紙コップごみを削減しました。また、リユース食器の回収率は98.2%と高く、選手の皆様の多大なご協力をいただきました。



給水所で使用された水の入ったリユース食器

4. 川崎フロンターレ開幕戦・ACL戦 3月7日(土)・3月11日(水)

大勢の市民、サポーターの皆さんが来場される川崎フロンターレ開幕戦にて、市内で初めて全ての売店を対象にリユース食器の導入事業を行いました。リユース食器は、どんぶり類(うどんやカレーライス等)約4,000個を使用し、返却率は開幕戦87.7%、ACL戦95.1%と上昇しました。

リユース食器返却所は、従来、回収員等を常時配置していましたが、今回の導入事業では、概ね返却所を無人化としました。これは、リユース食器利用者の環境配慮に対する意識・モラルに重点をおいた返却システムであり、リユース食器返却に伴う運営の軽減にもつながりました。



リユース食器を返却するフロンターレサポーター

